

(別紙 12)

大学「地（知）の拠点整備事業」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

※以下の項目を参考の上で作成をしてください（様式は自由です）。

実習企業・機関	東北地方整備局 酒田港湾事務所
実習期間	令和 元年 9月 9日 ～ 令和 元年 9月 13日
学生氏名	柴田萌々
実習プログラム	<1 日目> 港湾法概要、国有財産・管理委託手続、酒田港港内見学、日和山見学 <2 日目> 予算と会計、契約制度、物品管理・文書管理、花王酒田工場見学、広報業務 <3 日目> 地方港湾（加茂・鼠ヶ関）見学 <4 日目> 工事安全パトロール、倫理・コンプラ、港湾計画・事業評価 <5 日目> 成果資料作成、成果発表会
学び・気づき （300 字程度）	インターンシップでは、港や現場の視察はもちろん、事務職に興味があることを考慮してくださり、職員の方の講義を聞く機会を多く設けられた充実したカリキュラムを用意してくださいました。国家公務員の仕事は、会計や文書管理だけでなくサービス規律においても、公務員としての自覚をもって全体の信頼のために責任感を持つことが必要だと感じました。また、産業・物流の拠点である酒田港は貿易によって生活を豊かにし、港開発、大型クルーズ船の寄港や工場招致が雇用拡大や広報活動につながるため、酒田市にとって大きな役割を担っていることがわかりました。そして、そのように日々成長する酒田港を支えているのが、酒田港湾事務所であり、大型貨物船やクルーズ船を入港させるために岸壁や防波堤の整備や港の開発、防災や災害時の対応も行っていることも学びました。
今後に向けた 抱負 （200 字程度）	今回のインターンシップでは、事務所内外の様々な社会人の方とお話しさせていただく機会がたくさんあり、時には敬語でどのように話せばいいのか、今どのような行動を取ればいいのかと戸惑う場面もありました。しかし、この経験が現時点での自分のスキルを知る機会となり、今後の課題や目標が明確になりました。将来のビジョンがより具体的になったため、目標達成に向けて残りの大学生活で今回得たこれらの経験を活かしていきたいです。

インターンシ
ップをして気
づいた、実習先
の魅力
(300字)

酒田港湾事務所では、大型貨物船やクルーズ船を入港させるために岸壁や防波堤の整備や港の開発、また、港に関する防災や災害時の対応も行っています。このように日々成長する酒田港を支えている仕事を間近で見ることができました。酒田市に住んでいても、港と関わりを持って生活することはあまりないため、貴重な経験をすることができたと感じます。国家公務員と聞くと何処かお堅いイメージがありましたが、まったくそのようなことはなく、職員の方々は優しく指導やサポートをしてくださり、5日間のインターンシップは充実したものでした。

写真 (1~3点)

